



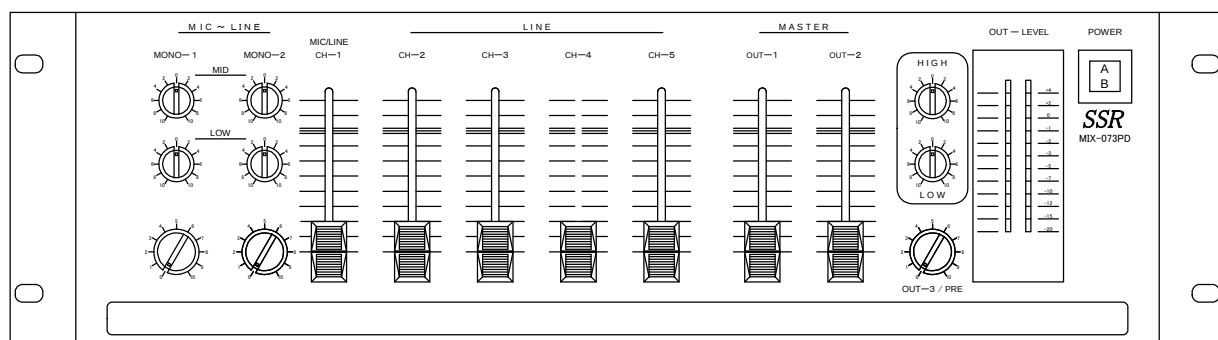
取扱説明書

Ver. 2.0

ステレオミキサー

MIX-073PD

MIX-073



このたびは、ステレオミキサーMIX-073PDをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

正しくご利用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、
末永くご利用いただけますようお願い申し上げます。

SSR株式会社

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号



分解禁止



禁止

行為を強制する記号



強制



電源プラグ
を抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



電源プラグ
を抜く

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

使用するとき

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



強制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

概 要

全 7 系統の入力と 3 系統の出力（内 1 系統はプリ/ポスト切り替え可能）を持った、宴会場・会議室・フィットネススタジオに最適な、ステレオミキサーです。

小型（3 U サイズ）ながら、入出力音量調整には 1 つを除き総べ 60 mm のスライドフェーダーを採用し、デスクマウントやラックマウントも可能です。

操作が簡単で、動作状態もひと目でわかるようになっています。

特 徴

- ・ 音量調節には 60 mm ストロークのスライドフェーダーを採用しているので、操作がしやすく細かな音量調節ができ、また調整した音量がひと目でわかります。
- ・ ゲインコントロール等の調節つまみは裏面に設置したので、設置後は、スライドフェーダーの音量調節だけで簡単に操作できます。
- ・ 7 系統の入力と 3 系統のミキシングバスがあり、OUT 3 は OUT 1 に対してプリとポストの切り替えができます。
- ・ 通常モノラル入力は 2 系統、ステレオ入力は 5 系統ですが、ステレオ 1 はモノラルに切り替え可能です。
- ・ 前面の調整用のフェーダー・つまみは、ラックマウント状態のままで交換できます。（+ドライバーのみで OK。半田ごて等も必要なしでメンテナンスも容易です。）

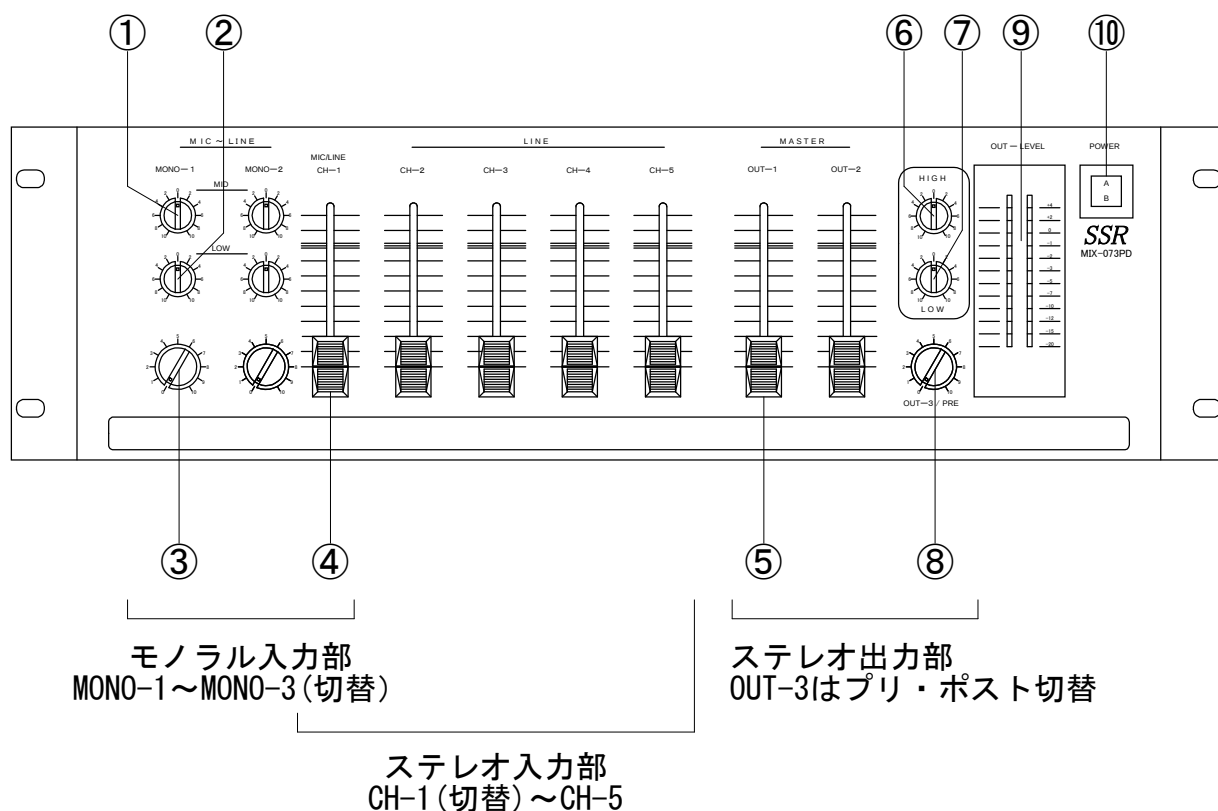
（PD 付のみ）

- ・ カットリレーの 24 V ラインを直接入力できるので、非常放送の対応も可能です。
- ・ 無電圧メイク接点があるので、電源をリモート操作できます。

* 本機は、ラックマウント専用機器です。
必ず専用ラックに取付・設置してお使いください。

各部の名称と働き

[前面パネル]



- ① モノラル入力用イコライザー (M I D)
モノラル入力の中域を調整します。ツマミが中央の位置でフラット。
右に回すと増幅され、左に回すと減衰します。ピーキングタイプ。
- ② モノラル入力用イコライザー (L O W)
モノラル入力の低域を調整します。ツマミが中央の位置でフラット。
右に回すと増幅され、左に回すと減衰します。ピーキングタイプ。
- ③ モノラル入力用チャンネルボリューム
インプットチャンネルの信号出力レベルを調節し、
チャンネル間の音量バランスを調整します。
- ④ ステレオ入力用チャンネルフェーダー
インプットチャンネルの信号出力レベルを調節し、
チャンネル間の音量バランスを調整します。
- ⑤ ステレオ出力用チャンネルフェーダー
ステレオのOUT端子に出力される信号のレベルを調節します。

⑥ ステレオ出力用イコライザー (HIGH)

ステレオ出力の高域を調整します。ツマミが中央の位置でフラット。
右に回すと増幅され、左に回すと減衰します。シェルピングタイプ。

⑦ ステレオ出力用イコライザー (LOW)

ステレオ出力の低域を調整します。ツマミが中央の位置でフラット。
右に回すと増幅され、左に回すと減衰します。シェルピングタイプ。

⑧ ステレオ出力用チャンネルボリューム (OUT-3)

ステレオのOUT-3端子に出力される信号のレベルを調節します。
OUT-1に対してプリ・ポストに切替できます。

⑨ レベルメーター

OUT-1の端子から出力される信号レベルをLEDで表示します。
“0”の位置が規定出力レベルを示し、
クリッピングレベルで赤いLEDになります。

このメーターで表示されるのは「OUT-1」のみです。

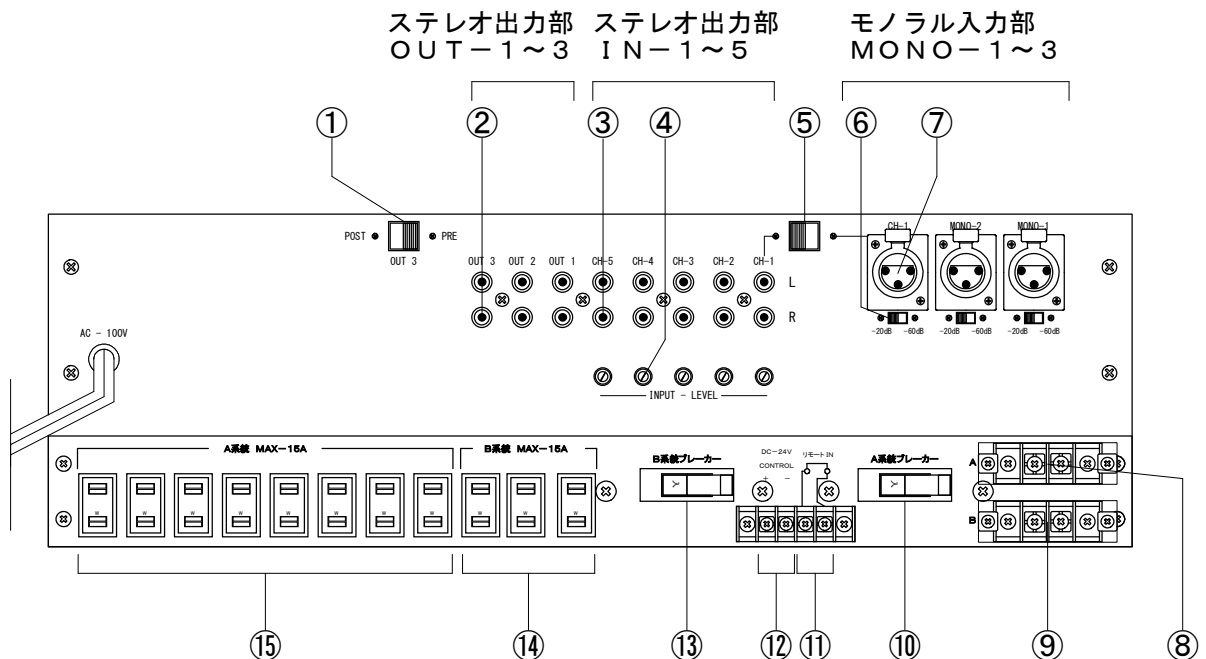
電源がONの状態中は、一番下のLEDが点灯します。

⑩ 電源スイッチ

電源のON/OFFを切り替えるスイッチです。

PD (パワーディストリビューター) 付の場合は、一斉電源スイッチになります。
A回路・B回路に別れ、遅延を掛けて一括で電源を入り切りします。
バックライトも2つに別れ遅延を掛けて入り切りします。

[後面パネル]



- ① プリ/ポスト切替スイッチ
OUT-3をプリ/ポストに切り替えるスイッチ
- ② ステレオ出力端子（RCA L R）
ミックスされた信号をステレオ出力するパワーアンプなどを接続します。
- ③ ステレオ入力端子（RCA L R）
不平衡型のステレオ・ライン信号を入力します。
- ④ ステレオ入力ゲインコントロール
入力信号レベルに応じて感度を調整します。
- ⑤ ステレオ/モノラル切替
ステレオ入力用チャンネルフェーダーの「1」をステレオ入力(RCA)か、モノラル入力(XLR)にするか切り替えるスイッチ。
- ⑥ モノラル入力切り替えスイッチ
マイクレベル(-60dB)とラインレベル(-20dB)に入力感度を切り替えます。
- ⑦ モノラル入力端子（XLR）
電子バランス型のマイクロホン信号やモノラル・ライン信号を入力します。
(1番ピン：アース、2番ピン：ホット、3番ピン：コールド)

PD（パワーディストリビューター）付の場合

⑧ 主電源接続端子（A系統）

電源（配電盤・コンセント等）からの配線をこの端子に接続します。
最大15A（1500W）で、A系統のみの電源供給となります。

* 出荷時は、A・B系統の端子間にジャンパーピンがあります。
接続する全ての機器の合計消費電力が1500Wを超える場合は、
ジャンパーピンを外して、A・B系統個別に別回路の電源を接続してください。

* カットリレーコンセントから電源（100V）を取る場合、
通常カットリレーコンセントの容量は約800Wですので、
A・B系統の端子間ジャンパーピンを外し、
カットリレーコンセントからの電源をA系統に接続し、
B系統には別回路の電源を接続してください。

この時、カットリレー動作時の為に、
ミキサーの電源は、A系統のコンセントに接続してください。

⑨ 主電源接続端子（B系統）

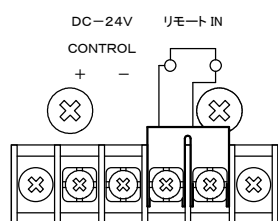
電源（配電盤等）からの配線をこの端子に接続します。
最大15Aで、B系統のみの電源供給となります。

⑩ ブレーカー（A系統）

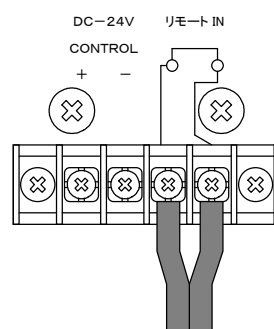
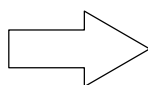
本機器A系統の供給能力を超えた過電流が流れた時に動作し、
本機器A系統の全ての電源が切れます。
過電流の原因を除いた後、スイッチを「入」にすると、元の状態に戻ります。

⑪ リモート端子（無電圧・メイク接点对応）

ショートする事で本機器の電源が入ります。オープンにすると電源が切れます。
リモートコントロールする際は、出荷時についているジャンパーピンを必ず外してください。
また、リモートコントロール時は、前面電源スイッチをONの状態でお使いください。



出荷時ジャンパーピン有

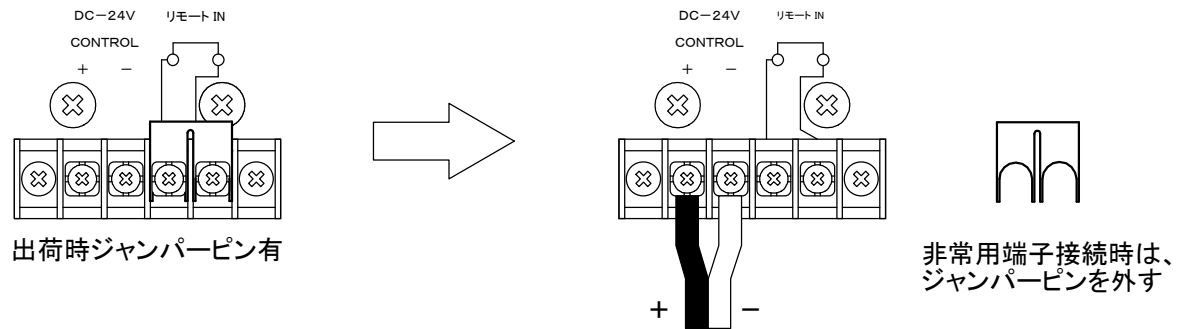


リモート端子接続時は、
ジャンパーピンを外す

⑫ 非常用入力端子 (DC24V) (非常時24Vブレイク方式対応)

非常放送設備と連動させる場合に、カットリレー用のDC24Vをこの端子に接続します。
非常時24Vブレイク方式対応です。

カットリレーを接続する際は、必ず「リモート端子」のジャンパーピンをはずしてください。



* 非常用入力端子を使用している場合、リモート端子はご使用になれません。
非常用入力端子とリモート端子の併用はできません。

⑬ ブレーカー (B系統)

本機器B系統の供給能力を超えた過電流が流れた時に動作し、
本機器B系統の全ての電源が切れます。
過電流の原因を除いた後、スイッチを「入」にすると、元の状態に戻ります。

⑭ B系統コンセント

パワーアンプやアンプ内蔵機器などを接続してください。
3個のコンセントの合計消費電力が1500Wを超えないようにしてください。

⑮ A系統コンセント

ミキサー・イコライザー・CD・DVD・カセットなどの機器を接続してください。
8個のコンセントの合計消費電力が1500Wを超えないようにしてください。

仕 様

周波数特性	LINE : MIC 20Hz~20kHz 0~3dB
歪率	LINE 0.005% MIC 0.05%
入力換算雑音	LINE -106dB MIC -123dB
クロストーク	56dB
イコライザ	モノ 1・2 LOW 400Hz MID 3kHz
	OUT LOW 100Hz HIGH 10kHz
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	約 10W
重量	6.7Kg
寸法 (ラックマウントアングル使用時)	幅 480mm 奥行き 240mm 高さ 132mm (EIA・3Uサイズ)

入力定格

名 称	使用コネクタ	定格レベル	インピーダンス
モノラル 1~3ch ※	XLR3 - 31相当 (平衡)	-60dB ~ -20dB	1K Ω
ステレオ 1~5ch ※	RCAピンジャック (不平衡)	∞ ~ -18dB	50K Ω
※ モノラル入力3とステレオ入力1は切り替えスイッチでどちらか一方の入力となります			

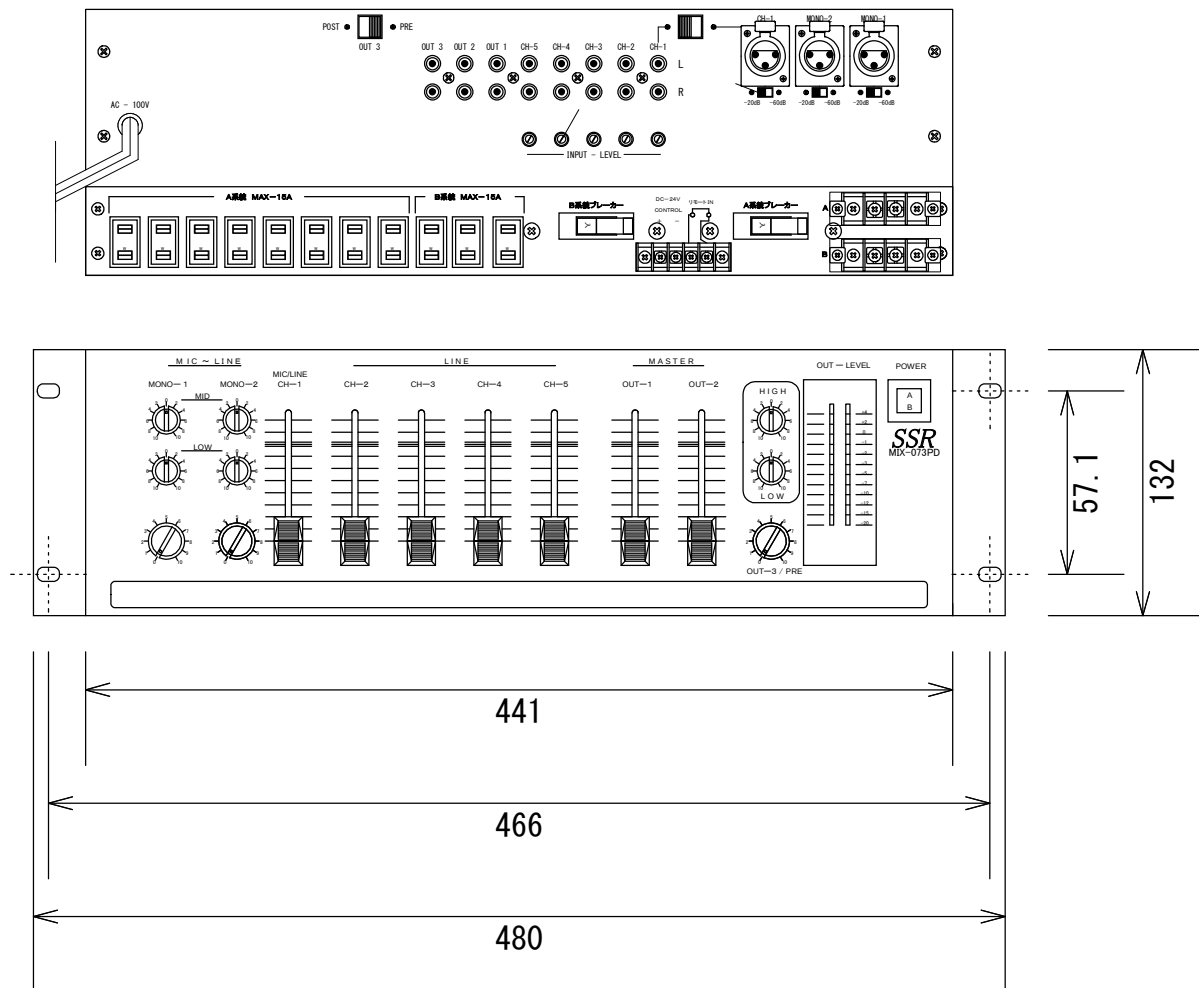
出力定格

名 称	使用コネクタ	定格レベル	インピーダンス
OUT 1~3ch ※	RCAピンジャック (不平衡)	+4dB	600 Ω
※ OUT-3は切り替えスイッチでPRE/POSTのどちらかを選べます			

パワーディストリビューター部

15A × 2 の2系統ディレイ回路搭載
リモートコントロール端子付
非常用入力端子付 (カトリレー)

概観寸法図



奥行き 240mm（突起物含まず）

単位 : mm

SSR株式会社

〒 245-0053
神奈川県横浜市戸塚区上矢部町 1873-1

TEL 045-812-0033
FAX 045-812-5411